日本酸素ホールディングス株式会社

2026 年 11 月 4 日

2027 年３月期 第２四半期決算に関するお知らせ

日本酸素ホールディングス㈱（社長 CEO：渡邉 忠治）では、2027 年３月期 第２四半期の業績が確定しましたのでお知らせします。詳細は、当社ウェブサイトに開示しております決算短信および決算電話会議資料をご覧ください。

記

1. 2027 年３月期 第２四半期 累積業績概要

当中間連結会計期間（2026 年４月１日から 2026 年９月 30 日まで）における当社グループの事業環境は、引き続き、先行きを見通すことが困難な状況でした。

このような状況ではありましたが、グループ全体における製商品の出荷数量は前年同期比で増加しました。グループ全体としては、コスト上昇を販売価格に反映するといった価格マネジメントや、地域ごとの生産性向上プログラムに継続的に取り組みました。これらの結果、当中間連結会計期間における業績は、売上収益 7,371 億 47 百万円（前年同期比 13.3%増加）、コア営業利益 1,088 億 97 百万円（同 15.5%増加）、営業利益 1,192 億 74 百万円（同 26.6%増加）、親会社の所有者に帰属する中間利益 795 億 91 百万円（同 38.6%増加）となりました。

（単位：十億円）	2026年3月期 第2四半期累計	2027年3月期 第2四半期累計	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	為替影響除き 増減率	通期予想比 進捗率
売上収益	**650.8**	**737.1**	**+86.3**	**+13.3%**	**+5.8%**	**53.4%**
コア営業利益	**94.2**	**108.8**	**+14.6**	**+15.5%**	**+7.5%**	**52.3%**
コア営業利益率	14.5%	14.8%				
非経常項目	-0.0	10.3	+10.3			
営業利益（IFRS）	**94.2**	**119.2**	**+25.0**	**+26.6%**		**55.5%**
営業利益率	14.5%	16.2%				
EBITDAマージン	23.8%	24.4%				
金融損益	-10.9	-11.5	-0.6			
税引前中間利益	**83.2**	**107.7**	**+24.5**	**+29.4%**		
法人所得税	-24.0	-25.9	-1.9			
中間利益	59.2	81.7	+22.5	+38.1%		
（中間利益の帰属）親会社の所有者に帰属する中間利益	**57.4**	**79.5**	**+22.1**	**+38.6%**		**60.8%**
中間利益率	8.8%	10.8%				
非支配持分に帰属する中間利益	1.8	2.1	+0.3			

２．2027 年３月期　通期業績予想

2026 年５月 11 日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

(単位：十億円)	2026年3月期 通期	2027年3月期 通期予想 (2026年5月11日発表)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上収益	**1,359.6**	**1,380.0**	**+20.4**	**+1.5%**
コア営業利益	**203.0**	**208.0**	**+5.0**	**+2.4%**
コア営業利益率	14.9%	15.1%		
非経常項目	-5.2	7.0	+12.2	
営業利益（IFRS)	**197.8**	**215.0**	**+17.2**	**+8.7%**
営業利益率	14.6%	15.6%		
EBITDAマージン	24.3%	25.1%		
金融損益	-21.0	-24.0	-3.0	
税引前利益	**176.7**	**191.0**	**+14.3**	**+8.0%**
法人所得税	48.9	56.5	+7.6	
当期利益	127.8	134.5	+6.7	+5.2%
(当期利益の帰属) **親会社の所有者に帰属する当期利益**	**123.8**	**131.0**	**+7.2**	**+5.7%**
当期利益率	9.1%	9.5%		
非支配持分に帰属する当期利益	3.9	3.5	-0.4	

為替レート（円）	USD（米ドル）	151.09	150.00
(期中平均レート)	EUR（ユーロ）	175.58	175.00
	AUD（豪ドル）	100.38	100.00

（参考情報）

2027 年 3 月期 第 2 四半期 累積業績（セグメント別）

（単位：十億円）		2026年3月期 第2四半期累計	2027年3月期 第2四半期累計		前年同期比			
		前年同期	当期	構成比	増減額	増減率	為替影響額	為替影響除き増減率
日本	売上収益	194.6	**197.5**	26.8%	+2.9	+1.5%	+0.3	+1.3%
	セグメント利益	26.4	**25.0**	23.0%	-1.4	-5.4%	+0.0	-5.6%
	セグメント利益率	13.6%	12.7%					
米国	売上収益	172.5	**199.7**	27.1%	+27.2	+15.8%	+16.5	+5.7%
	セグメント利益	23.1	**28.4**	26.1%	+5.3	+23.2%	+2.2	+12.2%
	セグメント利益率	13.4%	14.3%					
欧州	売上収益	167.9	**199.4**	27.1%	+31.5	+18.8%	+15.8	+8.6%
	セグメント利益	32.7	**38.0**	34.9%	+5.3	+16.3%	+3.1	+6.1%
	セグメント利益率	19.5%	19.1%					
アジア・オセアニア	売上収益	98.5	**123.5**	16.8%	+25.0	+25.4%	+12.8	+10.9%
	セグメント利益	8.9	**15.2**	14.0%	+6.3	+70.7%	+1.3	+48.0%
	セグメント利益率	9.1%	12.4%					
サーモス	売上収益	17.0	**16.7**	2.3%	-0.3	-1.9%	+0.2	-3.2%
	セグメント利益	3.4	**2.7**	2.5%	-0.7	-21.4%	+0.1	-25.4%
	セグメント利益率	20.4%	16.4%					
調整額	売上収益	0.0	**0.0**	0.0%	+0.0	—	—	—
	セグメント利益	-0.4	**-0.6**	-0.5%	-0.2	—	—	—
連結合計	**売上収益**	**650.8**	**737.1**	**100.0%**	**+86.3**	**+13.3%**	**+45.7**	**+5.8%**
	コア営業利益	**94.2**	**108.8**	**100.0%**	**+14.6**	**+15.5%**	**+7.0**	**+7.5%**
	コア営業利益率	14.5%	14.8%					

【日本】

ガスビジネスでは、電子材料ガスの出荷数量の増加に加え、価格マネジメント効果により、増収となりました。機器・工事ビジネスでは、産業ガス関連、エレクトロニクス関連共に減収となりました。セグメント利益は、エレクトロニクス関連の機器・工事における売上収益の減少や、コスト上昇の影響を受け、減益となりました。

【米国】

ガスビジネスでは、出荷数量の増加や価格マネジメント効果、および為替の影響から増収となりました。機器ビジネスでは、産業ガス関連、エレクトロニクス関連共に増収となりました。セグメント利益は、価格マネジメント効果や生産性向上への取組みに加え、出荷数量の増加により、為替による影響を除いても増益となりました。

【欧州】

ガスビジネスでは、出荷数量が減少したものの、為替の影響や価格マネジメント効果により、増収となりました。機器・工事ビジネスでは、前期に取得したスペインのホームケア事業に加え、当期子会社化したイタリアのエンジニアリング事業の寄与により、増収となりました。セグメント利益は、出荷数量減少の影響を受けたものの、価格マネジメント効果や生産性向上への取組みにより、為替による影響を除いても増益となりました。

【アジア・オセアニア】

ガスビジネスでは、前期に取得したオセアニア地域における産業ガス事業の売上収益が加わったこと、出荷数量が増加したことが寄与し、増収となりました。機器・工事ビジネスでは、エレクトロニクス関連は減収となった一方、産業ガス関連は増収となりました。セグメント利益は、価格マネジメント効果、前期に取得したオセアニア地域における産業ガス事業の寄与に加え、出荷数量の増加により、増益となりました。

【サーモス】

日本では、第 2 四半期における天候不順により需要が低調に推移し、減収となりました。一方で、韓国はオン

ライン販売が好調に推移し、増収となりました。セグメント利益は、日本における売上収益の減少の影響を受け、減益となりました。

以上

日本酸素ホールディングスグループは、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアの 4 つの地域で 30 超の国と地域をカバーする世界第 4 位の産業ガス、電子ガス、医療用ガスのサプライヤーです。また、サーモス事業では、世界 120 カ国以上に THERMOS ブランド製品を供給しています。1910 年に日本酸素合資会社として設立されて以来、当社グループは、革新的なガスソリューションを通じて社会的価値を創造し、産業の生産性を高め、人々の豊かで健康な暮らしとより持続可能な未来に貢献することを使命としています。19,000 名以上の従業員を擁する私たちは、"The Gas Professionals "として、“進取と共創。ガスで未来を拓く。”という同じ目標を掲げています。

お問い合わせ先
日本酸素ホールディングス株式会社
広報部
03-5788-8513
Nshd.Info@jp.nipponsanso.com